

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線324)
FAX63-5139

今月の表紙

今月号の表紙は、こうた夏まつりの盆踊り。2日間に渡ってさまざまなイベントが行われ、約3万人の参加者が幸田町の夏を満喫していました。(詳細記事は10ページ)



知って得するくらしの

知恵袋

観葉植物の手入れ

鮮やかな緑を室内で一年中楽しめる観葉植物。手入れの基本さえ押さえおけば、初心者でも手軽に育てられます。初めて買うなら丈夫で手のかからないポトス、カポック、ゴムの木などがおすすめです。

手入れのポイントは、水と風通し、そして日光の当て方です。まず、水はやり過ぎないこと。土が乾いたらたっぷりと与え、鉢皿にたまった水は必ず捨てましょう。そのままにしておくと根腐れの原因になります。

注意したいのが冬場の水。寒い冬に冷たい水道水では植物が弱ってしまいます。水をしばらく室内に置き、室温程度に温めてから与えるようにしましょう。

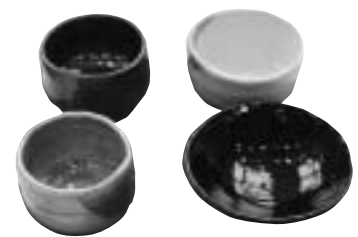
風通しは植物にとってとても大切です。風通しが悪いと葉が落ちたり元気がなくなったりします。また、エアコンの風が直接当たると、乾燥し過ぎてよくありません。1日1回は窓を開け、外の空気に触れさせま

しょう。

さらに、観葉植物には直射日光も要注意。強い日差しに耐えられないものが多く、特に夏場は紫外線が強いので、できるだけ日陰に置くようにしましょう。逆に日差しが弱い冬場は、時々外に出して日光浴をさせると元気になります。

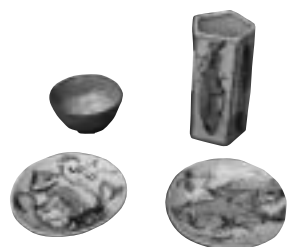
肥料をやるのは、主に植物が成長する春から夏にかけて。秋や冬はあまりあたえなくても大丈夫です。肥料も水と同じくやりすぎは禁物。説明書をよく読み、植物の種類や鉢の大きさに合わせて与えます。

室内の観葉植物は乾燥しやすい葉にホコリが付きやすいもの。霧吹きで時々葉を湿らせて乾燥を防ぎましょう。また、柔らかい布やティッシュに牛乳を染み込ませて葉をふくと、牛乳の成分がワックス効果を発揮して葉にツヤが出ます。



【陶芸】
大沢 寛さん

みんなの作品展!



【陶芸】
肥田 清治さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

おとまりご

「おとまりご」

今日は、お彼岸。これからお墓参りですか……

「だが、お寺行くだ。せつかく勤まるだで、めーらにやおとまりいわ」

「いいえ、お寺へ行くのよ。せつかく法要が営まれるのだから、参らないと罰が当たるよ」という意味です。

この「おとまりご」、以前は「もったいない」の意味だけで簡単に片付けてしまいました。が、よく調べてみると、語源はなんと「うと(疎)ましい」だったのです。意味が全く違うのに……。実は、「疎ましい」には、もともと「恐ろしい」の意味もありました。この恐怖心が、神仏への畏敬の念に転じて「恐れ多い。罰当たりなさま」の意味となり、さらに、万物への感謝の心をあわせて、「もったいない」の意味となったと考えます。

地球温暖化など環境への危機感が募る今、「おとまりご」も一つのキーワードです。

(文・じろざ)



青春トークリレー

第162走者

ひらいわ ひろえ
平岩 弘衣さん

坂崎区在住 23歳 保育士
身長 150cm O型
好きなタイプ 優しい人
好きな芸能人 SMAP

こんにちは。私は今、保育士をしています。昔から小さい子が大好きで、幼稚園のころから保育士になるのが夢でした。今、保育士をやっている大変なこともいろいろありますが、子どもの笑顔を見るたび励まされています。毎日「せんせ〜い」と寄ってきてくれる子どもたちがとてもかわいく、とても楽しい毎日をご過ごしています。今後も、子どもたちと楽しく過ごせるように、いろいろ工夫していきたいです。

休日は、友達と買い物へ行ったり、映画を見に行ったりして過ごしています。また、最近少し運動不足なので、何かスポーツでもはじめてみようかなと思っています。

まだまだ暑い日が続きます。子供たちは2学期のスタートです。早く生活のリズムを整えましょう。毎年のことですが、季節柄防災にも目を向けてみましょう。大雨、台風、地震、いつ起きるか予測不能です。戸別受信機の電池交換は？防災グッズの準備は？避難場所はどこ存知ですか？普段から気にしているといざという時に役に立ちます。(T)

大草保育園では、8月2・3・4日に夏の遊び会が行われました。夏ならではの経験ができるよう盛りだくさんの内容になっています。2日はクッキングに挑戦。年中児は白玉だんごを、年長児はカレーライス作りをしました。そして、3・4日は夏の風物詩であるおばけやしきを行いました。おばけやしきは年長児のオリジナル。「小さい子を

おどかさそうよ〜」と張り切る子どもたち。今まで経験したおばけやしきや、おばけ民話の読み聞かせ、おばけ紹介を基にイメージが膨らんだところから始まり、何度か秘密のおばけ会議を行いました。おばけ会議では、「どんなおばけをするか?」「どこで行うのか?」「役割をどうするのか?」などが話し合われ、素敵なおばけやしきができました。当日、バッチリおばけメイクをし「わたしきれい?」「う〜ら〜め〜し〜や〜」など、それぞれに怖さを表現し大成功に終わりました。



いている子を助けてあげてお助け係の裏方も大事な役割。小さい子を思いやり、優しい気持ちをお忘れな38人のおばけたち。おばけやしきは夏のいい思い出になったね。

今回の特集は、救急の日。もし、自分にとって大事な人が倒れたら、そんな場合を想定して今回の特集を組みました。もし、目の前で突然人が倒れたら、あわてずに対応するのはとても難しいことだと思います。しかし、事前に119番通報の手順を復習したり、心臓マッサージや人工呼吸のやりかたを勉強することによって、いざ非常事態に出くわした時でもある程度落ち着いて動くことができると思います。みんなで力を合わせて一つでも多くの命を助けたいですね。(D)

はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。希望者は企画情報課まで。



わんぱくぐだより

「某月某日」
〜大草保育園〜

おばけやしきの巻

編集者のひとこと

ちよと